

必須事項の完成 ← 全高入で

理科

社会

最強の入試対策を！

カリキュラムがぴったりなので、併用すれば入試対策は万全！

理科・社会においては、基礎学力が身につけていないと入試問題に対応できません。基礎を固めるためには、『高校入試 必須事項の完成』(以下、必須事項)が最適。まずは『必須事項』で基礎固めを完了してから、入試問題演習に臨みましょう。

学習成果をきちんと確認・定着させるには、基礎固めが完了した単元に対応した入試問題に取り組みたいところ。ただ、実際の入試問題から、該当単元の問題を見つけ出すのはかなりの負担。そこで、『精選 全国高校入試問題集』(以下、全高入)のご利用がおすすめです。『必須事項』にカリキュラムが対応しているので、スムーズに実践的な入試問題に取り組むことができます。

基礎
固め



実戦
演習



▼カリキュラム比較(理科)

理科

カリキュラムが
完全一致！

必須事項		全高入	
物理		物6分野	
1 身近な物理現象	P2~7	1 身近な物理現象	P6~11
2 電流とその利用	P8~14	2 電流とその利用	P12~17
3 運動とエネルギー	P15~19	3 運動とエネルギー	P18~23
化学		化学分野	
1 身のまわりの物質	P20~25	1 身のまわりの物質	P24~29
2 化学変化と原子・分子	P26~34	2 化学変化と原子・分子	P30~35
3 化学変化とイオン	P35~39	3 化学変化とイオン	P36~41
生物		生物分野	
1 植物の生活と種類	P40~46	1 植物の生活と種類	P42~47
2 動物の生活と生物の変遷	P47~55	2 動物の生活と生物の変遷	P48~53
3 生命の連続性	P56~58	3 生命の連続性	P54~57
地学		地学分野	
1 大地の成り立ちと変化	P59~64	1 大地の成り立ちと変化	P58~63
2 気象とその変化	P65~70	2 気象とその変化	P64~69
3 地球と宇宙	P71~75	3 地球と宇宙	P70~75
総合		環境分野	
1 科学技術と人間・自然と人間	P76~80	1 科学技術と人間・自然と人間	P76~79

使用例



必須事項



全高入(A問題)



全高入(B問題)

1 『必須事項』を学習してから『全高入(A問題)』に取り組み、十分な出来でなければ、『必須事項』の該当単元を徹底的に復習。「A問題」の出来が良ければ「B問題」へ。このスタイルがおすすめ！

2 『全高入』で先に学習し、その後で、該当単元の復習・弱点補強として『必須事項』を利用するスタイルも有効です！

社会については裏面を！

必須事項			全高入			必須事項⇒全高入の対応度 ※交互に学習するパターン
地理			地理的分野			
1 世界の姿と世界各地の生活	P2~6	1 地球のすがた・世界の国	P6~9	完全対応。		
2 世界の諸地域	P7~14	2 世界の諸地域	P10~13	完全対応。		
		3 世界地理の総合	P14~17	全高入2の後に学習。		
3 日本の姿と世界から見た日本	P15~22	4 日本の都道府県・諸地域	P18~21	必須事項3・4を学習してから、全高入4・5へ進む。		
4 日本の諸地域と身近な地域の調査	P23~30	5 地形図の読み取り	P22~25			
5 よく出る統計資料	P31~33	6 日本地理の総合	P26~29			
歴史			歴史的分野			
1 旧石器時代～平安時代	P34~40	7 古代の世界と日本	P30~33	完全対応。		
2 鎌倉時代～江戸時代前期(鎖国まで)	P41~46	8 中世の世界と日本	P34~37	必須事項2⇒全高入8⇒必須事項3⇒全高入9⇒必須事項4⇒全高入10の順番で学習。		
3 江戸時代中期～明治時代	P47~52	9 近世の世界と日本	P38~43	※必須事項での未習内容が、全高入で先に出題されることはないため。		
4 大正時代～平成	P53~57	10 近・現代の世界と日本	P44~49			
5 よく出る統計資料	P58~59	11 歴史の総合	P50~53			
公民			公民的分野			
1 現代社会と憲法・人権	P60~62	12 人間の尊重と日本国憲法	P54~56	完全対応。		
2 政治のしくみ	P63~68	13 政治のしくみ	P57~60	完全対応。		
3 経済のしくみ	P69~74	14 経済のしくみ	P61~64	必須事項3を学習してから、全高入14・15へ進む。		
4 国際社会	P75~76	15 国民生活と福祉	P65~67			
5 よく出る統計資料	P77~79	16 国際社会と日本	P68~70	完全対応。		
		17 公民の総合	P71~73			

カリキュラムが
完全対応していない単元は、
こちらの順番で学習を！

使用例

【通常単元】

【まとめ・総合回】



1

【通常単元】

『必須事項』を学習してから『全高入』に取り組み、十分な出来でなければ、『必須事項』の該当単元を徹底的に復習。出来が良ければ、次単元やまとめ・総合回に進む。

【まとめ・総合回】

『必須事項』の「よく出る統計資料」を学習してから、『全高入』の「〇〇の総合」を学習。

2

『全高入』で先に学習し、その後で、該当単元の復習・弱点補強として『必須事項』を利用するスタイルも有効です！

株式会社 エデュケーショナルネットワーク

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-11-11 栄光ビル3F

TEL:03-5275-3261 FAX:03-5275-3069

<https://www.edu-network.jp/>

e-mail:contents@e-network.jp